

Page.

3



本を介して

人と人がつながる

巻頭対談

イラストレーター 中川 学
×
立誠図書館館長 岡見 弘道

蔵書紹介

よむどす
YOMU-DOSU?

Book de まめ知識

まぼろしのレファレンス

珈琲は人と人をつなぐ

KYOTO'S COFFEE TIME

図書館からのお知らせ



立誠図書館機関紙

創刊号
2018.7

中川 学さん×岡見館長対談



立誠図書館のロゴやイラストを手がけ、立誠小学校卒業生でもある中川 学さんと、同じく卒業生である立誠図書館岡見館長が、元・立誠小学校や図書館に感じるものとは？

※プロフィールはP.3

単なる情報じゃない文化的なもの

※岡：岡見館長 中：中川 学さん

岡：ここに來られて、どんな感じですか？

中：オープンな感じがいいですね。ここは地域のみんでしている文化的な場所だったじゃないですか。あってよかったなって思います。木屋町からこういうのをなくしちゃうと単なる歓楽街。だから、皆ですよ。

岡：繁華街にね、図書館があるというのは珍しいし、地域にとってありがたいと思いますね。

中：今って紙の本がどんどんなくなってきてるんですよ。紙の本が伝えるものは、単にそこに書かれているものだけでなく、豊かな手触りだとか、質感だとか、香りだとか、いろいろあって。それ

が総合的にいいものであるって。そういう単なる情報じゃない文化的なものがこの場所に來たら触れることができるのはものすごく大事だと思いました。

岡：本を介して人と人がつながる。それがひとつこの図書館の役割なんじゃないかなと。

中：ここを最初に作った人たちの熱意、文化に対する想いがここに絶対あって、ここで育った人たちもたくさんいて。そういうのがレイヤーになって積み重なっている場所で、ここに来たらつながれるみたいな。絶対なくしたらあかんと思います。

図書館が好きで、いろいろ読みました

岡：どんな小学校時代をすごしましたか？

中：小学校時代はね、あんまりたいした子どもじゃなくて……。

岡：もう絵は描いてはったんですか？

中：ええ、描いていましたよ。絵くらいしか褒められない子どもでした。思い出はいっぱいありますね。油引きの校舎でね、油引きもしました。ドロドロになりながら。楽しかったですよ。

岡：立誠の特徴といえば、中庭のプール。京都市の小学校で初めてプールを持ったっていうね、だからこの地域っていうのがある意味先進的っていうか。それから、花街が近くにあるっていうのと、3階の和室。

中：自彊室(じきょうしつ)ね。

岡：行儀作法をしつけるみたいな、作法の部屋。

中：僕らも叱られる時はあそこでした。

中：畳に正座させられてね(笑)。

岡：これね、先斗町のおばあさんに聞いたんですけども、自彊室の掃除をするのが怖くて怖くて、たまらんかったって。その方が在学していた戦時中は戦没した兵隊さんの写真が飾ってあったからだって。そんなこともあったんだってね。それから、学さんのこれ(『中川学圖案繪集 UKIYO』玄光社 2018)も置いてまして……。

中：まさか自分の本が木屋町の図書館に置いていただけるなんて、思わなかったですよ。それも母校。当時、図書館が好きでいろいろ読みました。『少年探偵団』だとか、少年少女向けの推理物。片っ

端から読みましたね。それが今の仕事につながっていることは間違いない。

岡：そこでイメージネーションを培った。

中：そうですね、本は好きやったけど、でも字を読むのは得意ではなかったのですが……(笑)。挿絵が好きだったんですよ。道しるべみたいに読んでいくんです。

岡：学さんの絵って独特の無限の世界がありますよね。奇しいというか。木屋町にぴったり。

中：やっぱりこういう花街で育ったからですかね。小学校の下校は先斗町をみんなで遊びながら帰りました。舞妓さん、芸妓さんが歩いていたりしました。

ここを卒業した人たちをみんな忘れないよ

中：ロゴ(図1)も作らせていただいて。立誠の校章を使いたってというみなさんのアイデアもあって。このマークね、すごくバランスが難しいのですね。この五角形が同じ大きさだとかっこよく見えませんよ。微妙にサイズを変えていかないと、よく見えないという。結構複雑な図形です。



[図1、立誠図書館ロゴ]

岡：なるほど。パッとみるとシンプルな感じがしますが、作らると。

中：ええ。そのへんで苦労しました。

岡：このイラスト(図2)もどうですか? イメージとしては、

中：立誠小学校の歴史は長いじゃないですか。古い卒業生の写真を見ると、時代時代で服装が違うんですね。着物に袴の時代から、戦争中のゲートル巻き、僕らの時代の坊ちゃん刈りに半ズボンとかね。いろんな服があるなって思っていたので、「ここを卒業した人たちをみんな忘れないよ」っていう。

岡：そういう歴史を反映させているんだね。

中：いろんな世代の子が一堂に会して遊んでいるっていうね。楽しそうに勉強しながら遊ぶっていうのを描きたかった。

岡：すごく品がありますね。学さんのイラストは今や立誠のイメージとして定着したんじゃないですかね。これを使わせていただけるのは立誠図書館としてもありがたいです。

図書館がきて新しい作用が起こる

岡：今日は本当にありがとうございました。

中：ここ、このままずっとあってもいいですね(笑)。この場所がすごくいい場所だになっていうのがわかりました。

岡：我々は自分らの土地の力っていうのを、あんまり知らないということを改めて知りました。

中：そう思いますね。

岡：そこに図書館がきて新しい作用が起こるっていうね。これが楽しみなところですよ。



[図2、元・立誠小学校敷地内仮囲いイラスト。工事期間中だけのインスタ映えスポットとしても話題?!]

【中川 学 Gaku Nakagawa】

1966年生まれ。木屋町三条瑞泉寺の住職にしてイラストレーター。時代小説や絵本など、数々の書籍の表紙画や挿絵で活躍。2005年、ドイツの美術出版社 TASCHEN が発行する世界の注目すべきイラストレーター特集に選ばれる。近年絵本の仕事にも力を入れ、2014年刊行の『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』（汐文社）は20万部越えのベストセラーに。作品集『UKIYO 中川学圖案繪集』刊行 TIS 会員。

【岡見 弘道 Kodo Okami】

1952年生まれ。稱名寺住職。立誠消防分団 & 立誠社会福祉協議会代表。元短大文学科教員。古典文学から映画表現論、地域活動など幅広く研究対象としマドンナの宗教と表現を対象にした授業などを開講。また、京都市立立誠小学校の統廃合がもたらした京都市繁華街の変化に対応した地域活動、廃校を活用した地域活性化事業『大人の学校ごっこまなびや』に15年以上取り組んで文化発信の新しいカタチを提案。理想を捨てずに現実に対応していくか、を考える『折り合い学』を唱え、社会学の分野である地域活動と人文学の分野である文学や心理学とのコラボを提案している。著書『淀川の文化と文学』（共著 和泉書院刊 2001）論文『廃校跡地を用いた文化発信によるまちづくり事業の可能性と将来への方向』（大阪成蹊短期大学「研究紀要」第10号）

【中川さんの立誠図書館で気になる図書】



①鳥越 一郎／挿絵：中川 学

『電車告知人—明治の京都を駆け抜けた少年たち』ユニプラン 2007

②山形 季央『日本のグラフィック 100年』パイインターナショナル 2018

③鷲田 清一『京都の平熱—哲学者の都市案内』講談社 2013

④小倉 ヒラク『発酵文化人類学 微生物から見た社会のカタチ』木楽舎 2017

は み出しコラム 「土佐藩邸跡地」

第1回

元・立誠小学校があった場所は土佐藩邸だったということをご存知ですか？ 今では繁華街のイメージの強い木屋町界限ですが新撰組にゆかりのある地で、池田屋事件

の旅籠・池田屋、海援隊屯所・酢屋、坂本 龍馬と中岡 慎太郎が暗殺された近江屋など数々の歴史の舞台が間近。元・立誠小学校からほど近く、坂本龍馬など多くの土佐藩士が頻りに参拝していたという土佐稻荷岬神社（元は土佐藩邸敷地内にあった）は平成の世に生きる私たちも参拝可能です。諸行の繁栄と災厄除けの後利益がある神社に土佐藩士気分参拝してみてもは？！

また、元・立誠小学校北東角、高瀬川沿いには「土佐藩邸跡石碑」があります。その広さは高瀬川から河原町通りまでの間の約3000坪。土佐藩の京都での本拠地として、幕末という激動の時代の立役者たちが多数出入りしていたのでしょう。

【立誠図書館にある新撰組を知る図書】

桐野 作人 歴史文化ライブラリー462『龍馬暗殺』吉川弘文館 2018

中村 武生『池田屋事件の研究』講談社 2011

菊池 明『土方歳三日記 上・下』ちくま学芸文庫 2011

高井 忍『近江屋—一八六七年 百五十年の真相』文芸社 2017



坂本 龍馬
(国立国会図書館デジタルコレクションより)



土佐藩邸跡石碑

よむどす？ YOMU-DOSU?

立誠図書館 蔵書紹介

京都歩きの本棚

立誠小学校DNAの本棚

食べる本棚

の3つのカテゴリーの約600冊の蔵書

よりホームページで毎週月曜日に図書を紹介する企画「YOMU-DOSU?」。その中から6冊をピックアップしました。ここで紹介する図書のほかにもさまざまな図書をそろえておりますので、ぜひ立誠図書館へお越しくださいませ。

YOMU-DOSU? 公式サイト：<https://www.bunmachi.org/recommend>

岡見館長のおすすめ図書



京都歩きの本棚

『京都の御所と離宮』

三好 和義

朝日新聞出版

現在の京都御所は江戸時代後期、1885(安政2)年に建て、知ってた?江戸時代に8回も再建されたが、各御殿のありよう、内部がどうなってるかはほとんどの京都の人は知らんのちゃいます?空から写した俯瞰写真から始まり大宮御所、仙洞御所、修学院離宮、桂離宮と2万枚超から選んだ画像が王朝の贅(の幻想?)を映し出す。併せて『京都ざらい』(井上章一著、朝日新書)『源氏の男はみんなサイテー』(大塚ひかり著、ちくま文庫)を読むとオモロい、かも?!



立誠小学校DNAの本棚

『うちは精肉店』

本橋 成一

一般社団法人 農村漁村文化協会

大阪府貝塚市の北出精肉店、自分たちが心をこめて育てた黒毛和牛を牛舎から連れ出し町内を歩いて屠場まで引いて行く。和牛は自らの運命を察しているのか屠場に入るスロープで足を踏ん張って抗う。いのちをいただいて私たちが生きていることを伝えるこのモノクロの写真集。繁華街は消費浪費の地、その中にある図書館だからこそ観るべき1冊かも!!子どもたちに向け作られたものであるが、ぜひ若い人たちにも観ていただきたい写真集!!参考映画作品として『ある精肉店のはなし』(2013年 額縁 あや監督作品)も必見。



食べる本棚

『近代京都における小学校建築』

川島 智生 / ミネルヴァ書房

明治が始まってすぐ、文部省が発足する前に地域(学区)で小学校を作り運営した京都、その建築と変遷を豊富な資料で歴史的に考察した本書。日本の小学校建築をリードした上京・下京の64校、それらの意匠や構造それぞれに独自の建築であったことがわかる。今年が明治150年だが番組小学校を産み出した各地域にとっては2年後、2020年もメモリアルな年であろう。京都市学校歴史博物館で開催中「明治150年京都の学校史をたどる-小学校編-」展(2018年6月23日~10月1日)も併せて御覧あれ!!

スタッフのおすすめ図書



京都歩きの本棚

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

七月 隆文
宝島社

最初の1ページをめくる。聞き覚えのある土地名。更に読み進めていく。自分の頭の中で映像が広がっていくのが分かる。物語は大学生の若いカップルの話なのだが、40!?の私が読んでみてもキュンキュン、そして切なくなってしまう内容だ。ただ、読み進めていくうちに最終どうなるかが想像出来てしまう内容に、途中ワクワク感が無くなってしまふ自分がいたのも確かだ。が、読み終わった後の率直な感想「恋愛って素晴らしい! ああ～恋したい!!」と心の中で叫ぶ私がいた(笑)

実は元・立誠小学校は実写映画版のロケ地でもあります!!



石橋 美樹

好きなこと(もの)
海外旅行/映画鑑賞/
音楽鑑賞/いい香り

悲しいことがあればあるほど、読書にのめりこみます。



立誠小学校DNAの本棚

『ファミコンの思い出』

深田 洋介 編
ナナロク社

小学校の男子ならきっと誰もが熱中したファミコン。本書には、たくさんのタイトルとそれにまつわる思い出がつづられている。当時の小学生にとって、ファミコンはコミュニケーションツールのひとつだった。どんなソフトを持っているか、どこまでステージをクリアしたかでランク付けされ、ランキング上位の人間には人が集まり、神格化される。ただし、女子には全然モテない。ゲームの攻略がうまいやつほど女性は攻略できないのだ。世の不条理を知ったのは、この時が初めてだったと思う。おかげで、今もまだ私はレベル1のまま。



普照 大督

好きなこと(もの)
美女

早くレベル2になりたい。



食べる本棚

『小林カツ代の日常茶飯 食の思想』

小林 カツ代
河出書房新社

本書は故小林カツ代さんの食への先進性と優しさをたくさん感じます。「今まで、「家庭料理」ということに対して騒ぎすぎてたわよね。たかが命をつなぐために食べているだけなのに、大騒ぎしなさんなって言いたいですよ」(P.23)と。「家庭料理」には「女性の役目」「正しい方法」「品数必須」などと焦らされます。私も今はひとり暮らしで好きなものをアバウトに作っても美味しいから満足ですが、家庭ができたならNGなんだろうなって思うひとりでした。それよりも私たちが幸せになれる食生活を見守ってくれる、まるで「料理の母」のような本です。



栗山 万葉

好きなこと(もの)
アート/ロックとケーク
ポップ/美味しいものを
食べること/海外旅行

最近美味しいものは字面だけでも満足できるようになりました。実際に食べる方がいいのは勿論。

BOOK de まめ知識

まぼろしの



第1回

レファレンスとは皆さんの「知りたい」にお答えするべく、必要な資料を探すお手伝いをすることです。ここは新米図書館事務局員が「もし、こんな質問があったら？」をテーマに立誠図書館の蔵書を使って頑張ってみるコーナーです。

Q. 「清水の舞台から飛ぶつもりで」と言う人がいますが、ホントに飛び降りた人はいるのですか？

A. います！
実は、明治5(1872)年に明治政府が禁止するまで多くの方が挑んでいます。



【図1】
鈴木 春信〈清水舞台より飛ぶ女〉1765年頃

【図2】
益信〈清水の舞台より跳ぶ美人〉1770年頃
ともに Museum of Fine Arts, Boston
<https://www.mfa.org> より

「思い切って大きなことをするとき」のたとえとして使われている「清水の舞台から飛ぶつもりで」。あの約12mもある舞台から実際に飛び降りる人がいたなんて考えもしないですよね。ですが、いました！

その歴史は長く、最初に飛び降りた人は平安時代末期の説話集『古今物語集』に出てくる検非違使・忠明という人物。彼は追い詰められ「観音、助けたまへ」と叫んで飛び降りたところ、観音様のご利益によって難を逃れたそうです。

江戸時代中期ごろには清水の舞台から飛び降りることが大ブレイク。『成就院日記』によると1694年から1864年までに234人が飛び降り、85%が無事だったとか。理由は「病気治癒」や「故郷に帰りたい」などさまざま。また、傘を持って飛び降りる町娘の浮世絵(図1、図2)も残されており、恋愛成就の願掛けだそうです。観音様のご利益を願う庶民たちの信仰心があらわれた、ひとつの文化だったようです。

「なんだ、案外いけるのか」と思ったかもしれませんが、私たちは絶対にマネしてはいけません！これ、重要です。

【清水の舞台まめ知識】

清水の舞台を支えているのは直径約73cmのケヤキの18本の柱です。驚くことに釘などは一切使っていません。懸造(かけづくり)といいます。「舞台」と呼ばれていることを不思議に思う方もいるかと思いますが、実際に芸能などを奉納したいという人のために作られたそうです。

【今回使った立誠図書館の図書】

鳥居本 幸代『京都人にも教えたい京都百景』春秋社 2017

梅棹 忠夫『梅棹忠夫の京都案内』角川書店 2004

白幡 洋三郎『幕末・維新 彩色の京都』京都新聞出版センター 2004

『別冊 Discover Japan_TRAVEL プレミアム京都 “ニッポンの一流”を京都から学ぶ』樫出版社 2017

『別冊太陽 京都を知る 100章』平凡社 2016



【図2】

— 珈琲は人と人をつなぐ —

KYOTO'S COFFEE TIME

1世帯あたりの珈琲消費量が日本1という京都は、珈琲激戦区としてもホットで魅力的。珈琲は京都の文化を語る上で欠かせない、そして人と人をつなぐツールです。立誠図書館併設のTRAVELING COFFEE では月替りで京都の焙煎所のシングルオリジンコーヒーを提供中です。こちらでは、そんな京都の珈琲屋さんについておこたえいただきました。

※シングルオリジンコーヒーは時期により、メニュー内容が異なります。ご了承ください。

今号のピックアップ



TRAVELING COFFEE

住所：〒604-8023 京都市蛸薬師通河原町東入 310-2 立誠図書館

連絡先：080-3853-2068 定休日：不定休

営業時間：11:00 ~ 20:00

URL：www.facebook.com/kyototravelingcoffee/

→ 8 ページ



AMANO COFFEE ROASTERS

住所：〒603-8203 京都市北区紫竹東高縄町 23-2 ルピナス北山 1F

連絡先：075-491-6776(TEL&FAX) 定休日：不定休

営業時間：10:00 ~ 19:00

URL：www.amano-coffee.com

→ 8 ページ



中山珈琲焙煎所

住所：〒619-1127 京都府木津川市南加茂台 9-15-2

連絡先：nakayamacoffee@gmail.com 定休日：日曜日、月曜日

営業時間：12:00 ~ 19:00

URL：www.nakayamacoffee.com

→ 9 ページ



CIRCUS COFFEE

住所：〒603-8425 京都市北区紫竹下緑町 32

連絡先：075-406-1920 定休日：日曜日

営業時間：10:00 ~ 18:00

URL：www.circus-coffee.com/

→ 9 ページ

TRAVELING COFFEE



今回おこたえいただいた方：牧野 広志さん

Q1. プロフィール

地域密着と文化発信をテーマに、これまでには無い新しい形の守りと攻めを、コーヒーというひとつのコミュニケーションツールで着地点を目指し、良き提供者になる店作りを心掛けています。

Q2. おすすめのメニュー

＜今月の焙煎所 シングルオリジン コーヒー＞
毎月京都府内の焙煎所を選び、提供価格に合わせ1から豆選び焙煎具合などを焙煎家と相談し、オリジナルをオーダーメイドしております。

Q3. あなたにとって、珈琲とはなんですか？

珈琲は旅、一杯のコミュニケーションツールで国境を越える。

Q4. お好きな本を1冊教えてください

SEBASTIAO SALGADO
『THE SCENT OF A DREAM TRAVELS IN THE WORLD OF COFFEE』
Harry N. Abrams 2015



AMANO COFFEE ROASTERS

Q1. プロフィール

実父の珈琲豆加工卸業の現(株)アマノコーヒー創業から47年の元、30年間修業し、スペシャルティコーヒーに出会い2016年スペシャルティコーヒー自家焙煎店を京都市北区で開業。ブレンド5種とシングル(ストレート)約10種類が試飲でき購入できます。店内、テイクアウトもOK。

Q2. おすすめのメニュー

＜上賀茂ブレンド＞毎日飲めるやさしい甘味のブレンド
＜エチオピア グジ シダモ G-1＞
フルーティで紅茶のような風味
＜メキシコ SHG＞深煎りですが、苦味がなく甘さが特徴



今回おこたえいただいた方：天野さん

Q3. あなたにとって珈琲とはなんですか？

人生。

Q4. お好きな本を1冊教えてください

宮本 輝『錦繡』新潮文庫 1985

★ TRAVELING COFFEE 店主・牧野さんによるオススメポイント
親子二代に渡り受け継がれた本格派。スペシャルティコーヒーを世界水準で仕上げてきます。



中山珈琲焙煎所



今回おたえいただいた方：中山 修也さん

Q1. プロフィール

京都の木津川市にある中山珈琲焙煎所です。新鮮なスペシャルティコーヒーを使用し、進化していると信じて歩んでいます。フレッシュなコーヒーを日常に。確かな幸せを不確かな世界に。

Q2. おすすめのメニュー

<グアテマラ・ラシータ農園(中煎り)>

2018年2月に念願のグアテマラ・ラシータ農園を訪問しました。徹底管理された農園の設備に驚きと敬意！やはり品質も間違いありません。

Q3. あなたにとってコーヒーとはなんですか？

ややこしい飲み物。

Q4. お好きな本を1冊教えてください

吉本 ばなな『不倫と南米 世界の旅③』幻冬舎 2003
(内容は覚えてないけど挿絵が好きです。)

★ TRAVELING COFFEE 店主・牧野さんによるオススメポイント

京都木津川市にある中山珈琲焙煎所。進化する新鮮なスペシャルティコーヒーを独自の美学で仕上げてきます。

NAKAYAMA
COFFEE 
ROASTERY

CIRCUS COFFEE

Q1. プロフィール

2011年に店主の地元京都市北区紫竹にオープンした自家焙煎珈琲豆販売店です。「サーカス」の語源には「人が集まる」「集う」という意味があり、お店やサーカスのコーヒーを通じて人が集まり集う場所を作っていきたいと考えています。

Q2. おすすめのメニュー

<季節のブレンド>

日本の四季をコーヒーを通じて感じてもらえるよう、それぞれの四季をイメージした味わいを表現しています。



今回おたえいただいた方：渡邊 良則さん

Q3. あなたにとってコーヒーとはなんですか？

繋がり。

Q4. お好きな本を1冊教えてください

伊藤 博『コーヒーを科学する。』時事通信社 1997
(初めて買ったコーヒー本です)

★ TRAVELING COFFEE 店主・牧野さんによるオススメポイント

築約100年の町家を改装した店舗に、PROBAT社製52年式ビンテージの焙煎機で仕上げるスペシャルティコーヒーの専門店。余熱のプロ。

CIRCUS



COFFEE

図書館からのお知らせ

・「第44回高瀬川夏まつり～灯ろう流しと盆踊り～」のご案内

今年も高瀬川夏まつりが以下の日程で開催されます！みなさまぜひお越しください！なお、今年の夏まつりは会場が一部変更となります。

日程：8月18日(土)・19日(日)

会場：元・立誠小学校周辺にて開催。

両日、16：30～20：30 木屋町通が一部歩行者天国になります！



・立誠図書館サポーターの募集中です！

立誠小学校跡地にオープンするホールや図書館、立誠ガーデンなどを備えた複合施設(2020年完成予定)に先駆け2018年4月より開館した立誠図書館。一般社団法人文まちは、これまでの活動を継承しながら図書館運営のほか、新施設での文化事業の準備に取り組んでおります。

これらの活動および図書館の運営などを充実していくためには、多くの団体・個人の皆さまのご理解とご協力は欠かすことができません。

今回皆さまからいただいた会費はすべて図書館の費用に充当させていただきます。

なお、ご加入いただいた方にはもちろん立誠図書館機関誌「Page.3」の送付(年3回予定)とオリジナルクリアファイル・しおりをプレゼントさせていただきます。また、公式サイトにて、サポーターとしてご登録いただいたお名前を掲載させていただきます。

個人サポーター：3,000円

企業サポーター：50,000円

年会費有効期限は2018年10月1日～2019年9月30日まで

サポーター希望の方：メールまたはお電話にてお問い合わせください。

MAIL：info@bunmachi.org

TEL：075-585-5561

・立誠図書館オリジナルクリアファイルができました！

立誠小学校の歴史を感じさせる、中川学さんのイラストを使用したクリアファイルです。

A4クリアファイル1枚300円(税込)

立誠図書館にて販売中です。

<おもて>



<裏>



立誠図書館「Page.3」発刊にあたり

2018(平成30)年4月1日の立誠図書館開館に際しては、京都市・株式会社ヒューリック・竹中工務店・古瀬組、そして地元地域の各関係者の方々の多大な物心両面にわたるご支援をいただき心より感謝申し上げます。京都の繁華街における地域活動と密接に連携した図書館として独自の文化発信を館員スタッフと文まち関係者が真摯に取り組み運営していく所存です。今後ともよろしくご支援お願い申し上げます。

立誠図書館館長 岡見弘道



発行日：2018年7月15日（隔月発行）
発行：立誠図書館館長 岡見 弘道 / 企画・編集：栗山 万葉
編集：柏敏行 石橋 美樹 普照 大督 / デザイン：株式会社 KYO+

「Page.3」とは

「Page.3」は人・本・地域をつなぐ立誠図書館の機関誌です。

「元京都市立・立誠小学校跡地活用計画」の合意によりホールや図書館、立誠ガーデンなどを備えた複合施設（2020年完成予定）として生まれ変わることとなった立誠小学校。1928（昭和3）年に開校し、1993（平成5）年の閉校後も地元主催の行事や文化発信の場として、人と文化が集う場所として親しまれてきました。また、映画の原型である「シネマトグラフ」の日本初の試写実験が行われた映画と縁の深い地でもあります。

そんな立誠小学校のあゆみを本のページにみたと、小学校時代を1ページ、閉校後を2ページ、新施設への転換期の現在を3ページとしました。立誠小学校の新たな1ページのはじまりにご期待ください！

開館時間：月曜日～日曜日 11:00～20:00

* 図書、雑誌、新聞の複写サービスは11:00～19:00まで

休館日：不定休

お問合せ：Tel: 075-585-5561 FAX: 075-585-5562

Mail: info@bunmachi.org

公式サイト：<https://www.bunmachi.org>

所在地：京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町 310-2

アクセス：阪急電車「河原町駅」1番出口より徒歩3分

京阪電車「祇園四条駅」4番出口より徒歩5分

立誠図書館へのアクセス

